

地方創生 やらまいか通信 vol.22

発行日：平成 27 年 12 月 15 日

輝く未来へ今、袋井が動き出す！



東遊運動ゆかりの地で日本文化を体験！ 日越交流の歴史とその精神を振り返る

県内在住のベトナム留学生が、ベトナム独立運動の中心となったファン・ボイ・チャウによる東遊運動を支援した浅羽佐喜太郎の出身地「袋井」で、日越交流の歴史とその精神を振り返るとともに、禅寺「可睡齋」での宿泊を通じて日本文化を体験。

(主催) 静岡県地域外交課

(協力) 袋井市・袋井市観光協会・浅羽ベトナム会

先行型取組事例

地方創生「総合戦略」～抜粋～

挑戦2 ふくろい「場のチカラ」を向上させる挑戦

取組1 遠州三山「寺のある暮らし」推進プロジェクト

本市を代表する観光拠点である遠州三山を中心に、情報発信を強化し、国内外からの観光交流客の誘客と滞在時間を増やすプランの創造やおもてなし環境の整備を推進する。

■非日常的な体験や歴史に触れるプランの創造

遠州の古刹めぐり「三日坊さんの旅」をもとに、歴史的建造物や仏像などを巡るプランのほか、修行体験や精進料理の作り方教室など、地域資源を活用した非日常的な体験や歴史に触れるプランの創出により誘客の促進を図る。



本格的な座禅体験
曹洞宗専門僧堂（可睡齋）



■日本文化体験プログラム

ベトナム留学生（男性2名、女性8名）

禅体験（座禅・写経）、朝課（読経）、作務（掃除）、お茶の淹れ方などを体験。静岡県対外関係補佐官の東郷氏や可睡齋の佐瀬齋主老師の座学も開催しました。